

序

0.1 はじめに

「 $\text{L}^{\text{A}}\text{T}_{\text{E}}\text{X}$ 小説同人制作術」を発行したのは、2010 年 6 月 27 日でした。「 $\text{L}^{\text{A}}\text{T}_{\text{E}}\text{X}$ 小説組版術」を発行したのは、2012 年 5 月 5 日でした。

それから 2 年半程経ち、再びテクニックが蓄積されてきました。例えば行頭や行末に処理をして、今まで以上にべた組みするテクニック。挿絵差し替え様に PDF を分割して生成するテクニック。紙面に印刷されるタイプの隠しノンプルを出すテクニック等です。

それらを実現するテクニックを解説します。

ただ、それらを全部真面目に実現させようとするとうまくいきません。そして、段々「分かる人には分かる」「さりげない違い」レベルになってきています。もちろんそのさりげない違いが、読んでる時の気持ち良さにも繋がって来ます。しかし、そこまでしなくても十分な人のために、初級・中級・上級の様な、ステップアップしていく様な感じで解説していきたいと思います。

また、「 $\text{L}^{\text{A}}\text{T}_{\text{E}}\text{X}$ 小説組版術」には同人誌印刷所へ入稿する際のテクニックは控えめだった上、「 $\text{L}^{\text{A}}\text{T}_{\text{E}}\text{X}$ 小説同人制作術」の在庫もほぼ無くなった事なので、改めて説明します。

本書のタイトルですが、松坂洋先生の「よくわかる現代魔法」「All You Need Is Kill」のもじりです。松坂洋先生は 10 年前のインタビューで、執筆に Meadow, SKK, perl, $\text{T}_{\text{E}}\text{X}$ 等を使っていると答えていました。

それをそのまま印刷しているか、レイアウト確認程度なのかは分かりません。

「All You Need Is Kill」は石井明朝 NKL だったので、SAPCOL で組版し直したのか、dvi を石井明朝 NKL で出力するサービスを使ったのか……多分前者だとは思いますが。

ともかく、アニメとハリウッド映画にあやかり \TeX 使いの先生に敬意を表して、本書のタイトルとしました。

なお、幾つかのコマンドライン操作等は、Vine Linux で動かす事を前提にしています。L \TeX の部分については、Windows や Mac OS でも同様に動くと思います。